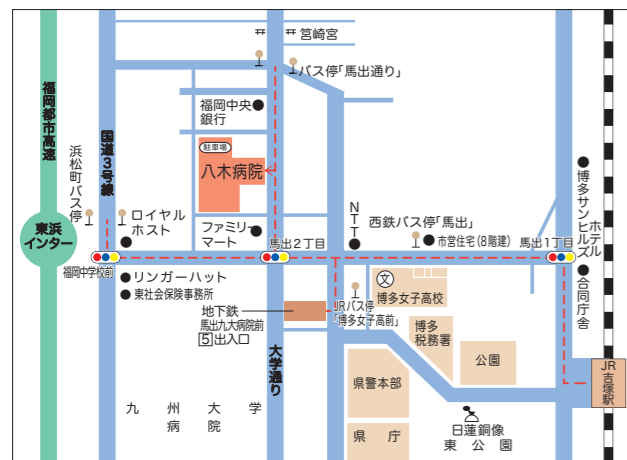


ほほえみ No.17

医療法人八木厚生会 八木病院

2023年2月号

診療科	月	火	水	木	金	土	
外科	AM	谷井 貢	三好 修 (予約は10:30迄)	平野 達也	三好 修	谷井 貢 (下肢静脈瘤含む)	後 信
	PM			平野 達也	三好 修	谷井 貢 (下肢静脈瘤含む)	
整形外科	AM	山口智太郎	原田 洋	原田 洋	山口智太郎	原田 洋	山口智太郎
	PM	原田 洋			山口智太郎	原田 洋	
脳神経外科	AM	前田 仁史	三谷 昌光 (9:30~)	前田 仁史	三谷 昌光 (9:30~)	三谷 昌光 (9:30~)	
	PM	前田 仁史	三谷 昌光 (16:00迄)	有村 公一 (第3以外) 奥田 智裕 (第3)	三谷 昌光 (16:00迄)	三谷 昌光 (16:00迄)	
皮膚科	AM						
	PM	杉 悠太					
一般内科	AM	松藤 英正	豊田 一弘	平峯 智	松藤 英正	松藤 英正	松藤 英正 (第2以外)
	PM	有馬 久富	松藤 英正	加野 哲平	松藤 英正	松藤 英正	
循環器内科	AM	戸高 浩司			西坂 麻里		樽木 晶子 糸長 潤平 (第1) 生田 圭 (第2) 原 彩乃 (第3, 5) 木佐貫洋志 (第4)
	PM	戸高 浩司					
呼吸器内科	AM						
	PM		山下 翔				
腎・高血圧・ 脳血管内科	AM		中村 晋之			中村 晋之	
	PM						
糖尿病内科	AM			村上 綾菜		堤 陽子 (第2, 4)	
	PM	村上 綾菜 (第1, 3, 5) 千田 友紀 (第2, 4)		村上 綾菜			
神経内科	AM			篠田 茉莉			
	PM						
漢方	AM					松藤 英正	
	PM						
消化器 (内視鏡)	AM	佛坂 孝太 (第1, 3, 5) 畑 佳孝 (第2, 4)	松藤 英正	矢野 愛恵	和田 将史	水流 大寛 (第1, 3, 5) 江崎 充 (第2, 4)	
	PM		畑 佳孝				
人間ドック (健診)	AM	金澤有紀子	金澤有紀子	坂上 香苗	金澤有紀子	金澤有紀子	
	PM	金澤有紀子 (16:30迄)	金澤有紀子 (16:30迄)	坂上 香苗 (15:30迄)	金澤有紀子 (16:30迄)	金澤有紀子 (16:30迄)	
救急	AM	三好 修	三好 修	三好 修	三好 修		
	PM	三好 修	三好 修	三好 修	三好 修		



診療科目

外科・消化器外科・整形外科・リウマチ科・脳神経外科・救急科・
内科・消化器内科・呼吸器内科・循環器内科・脳神経内科・漢方内科・
リハビリテーション科・皮膚科

ベット数

127床 (一般病床60床、障害者病床33床、医療療養病床34床)

受付時間 急患は24時間受け付けます。

平日 8:30~12:00
13:00~16:30
土曜日 8:30~12:30



検査・治療のご依頼は地域連携室へ

TEL: 0120-651-898
FAX: 0120-808-565

八木病院理念

恕

当院の理念である恕とは、孔子が「『仁、礼、忠、恕』の心をもって事を修めるべし」と説いた教えの中の1つで、「己の欲せざるところ、人に施することなかれ」—相手の立場に立ち、相手を思いやる心それが「恕」です。これは同情する心と違います。人間には自然治癒力といって自分で病気を治そうとする力があります。この自然治癒力はいろいろなストレスによって抑制されます。私達医人は、この力を最大限に引き出せるよう最善をつくさねばならないと思っております。

基本方針

良質・安全な医療の提供

1. 患者の皆様から親しまれ、信頼される病院にするため、良質・安全な医療の提供に心がけます。
2. 常に笑顔と優しさを忘れず、迅速、円滑に対応します。
3. 救急病院として、24時間いつでも診療します。
4. 病病、病診連携を深めて地域医療の充実・発展に貢献します。
5. 地域の皆様方の健康を守るため、健康相談に応じます。
6. 患者の皆様の人権を尊重し、理解と納得の上で診療をはじめます。

昨年は、ウクライナの問題、新型コロナウイルスの問題に加えて、円安が加わり、医療情勢を取り巻く環境も厳しくなっていますが、ワクチンを複数回接種している人も多くなり、重症化数はそれほど増えていない印象です。取り扱いも5類に変わるという情報もありますので、過度に恐れることなく、感染症の標準予防策を粛々と行いながら、普段どおりの医療をやっていきたくてと思っています。

八木病院の使命である、「地域に根ざし、地域の人をサポートする病院」を目指し、「恕」（他人を思いやる心）の精神を大切にして、職員が一丸となり、これからも地域に貢献できる医療をやっていきたくてと思っています。

どうぞ住民の皆様、そして地域医療を支えておられます先生方、当院を存分に活用されてください。

今年もよろしくお祈りいたします。

院長

山口 智太郎

やまぐち ともたろう



今年は「癸卯 みずのとう」の年です。癸卯は寒気が緩み萌芽を促す年、春の兆しの訪れ、飛躍や向上、成長の象徴でもあります。昨年末には第8波となり、ほほえみがお手元に届くころには穏やかな春が来ていることを祈りたいです。

当院看護部の紹介をさせていただきます。看護部の理念は「豊かな感性を持ち心の看護を提供する」です。基本方針の一つに「専門職として、安心・安全で信頼される看護実践をおこなう」を上げています。看護師がそれぞれ専門性を発揮し、患者さんの看護ができるように学びを深めています。日本リウマチ財団登録リウマチ看護師、日本循環器学会認定心不全療養指導士が、自宅での生活を安心して過ごし、再入院を繰り返さないよう、疾病を理解してもらうための指導や生活指導、心臓リハビリの支援にあたっています。今年度、内視鏡の担当看護師3名が内視鏡技師の試験に合格し、コロナ禍においても感染対策を徹底し、患者さんが安全で安心して、苦痛を軽減できる検査介助に努めています。

高齢化に伴い骨折や骨粗鬆症の患者も増加し、外来、病棟看護師がそれぞれ、骨粗鬆症マネージャー認定試験に合格したので、骨粗鬆症の患者さんの看護の充実を図るために、2023年度は目標を決めて取り組んでいきたいと張り切っています。卯年にちなみ飛躍や向上を目指し、看護師一人一人が目標をもって成長できるように看護部として支援し、地域の患者さんがより良い生活が送れるよう、地域医療に貢献できればと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

看護部長

木原 恵美

きはら えみ



八木病院の

高気圧酸素治療装置の歴史

高気圧酸素治療科
科長 河津 好宏

高気圧酸素治療は八木病院を代表する治療であり、その始まりは1971年1月にさかのぼります。

● 当時院長であった八木博司は、1964年米国留学の際 高気圧酸素療法と出会いまだ日本では珍しかった高気圧酸素治療装置を業者とともに試作し、臨床で使用できるようテストを重ね治療を始めました。

※酸素加圧一人用高気圧治療装置であり酸素で加圧するためマスクの必要がありません。

第一種
酸素加圧



1977年にはタバイ製 空気加圧一人用高気圧治療装置を導入。

● 空気加圧のため酸素マスクは必要になりますが、日本での高気圧酸素治療の爆発事故はすべて酸素加圧であり、安全を考慮しての装置導入でした。

※この治療器では酸素マスクが必要

第一種
空気加圧



1982年10月には、病院の増改築に伴い 大型の多人数用治療装置（空気加圧）を導入しました。

● この装置には、大きく複雑な設備が必要で、一階には治療室・操作盤・待合室、地下には気圧を上げる為の大型コンプレッサーや冷暖房施設、それらを制御する機器、屋上にはクーリングタワーなどが必要であり、結果大きなコストがかかりました。

第二種
空気加圧



● しかし同時に4人から5人の治療が行え、重症患者対応（治療室内に医師・看護師が入り処置が行える）等で、治療件数・治療回数ともに増加し、現在でも多くの患者様の治療を続けております。

※広い治療室ですので閉所が苦手な患者様にも対応できます。

福岡市内で大型多人数用高気圧治療装置は八木病院のみです。

※高気圧酸素治療装置 第一種（一人用）／第二種（多人数用）

下記のような適応疾患でお悩みの方があれば、ぜひ八木病院へご連絡ください。

適応疾患

CO中毒・難治性潰瘍・骨髄炎・突発性難聴・放射線性膀胱炎・減圧症・脳梗塞・イレウス・スポーツ外傷（自費） など